

# 小池としあき市政レポート

令和2年11月1日発行

小池としあき 〒417-0001 富士市今泉 2305-5

TEL: 52-5453 FAX: 69-1129

ホームページ: <https://www.koike473.com/>

Email: koike473@ab.thn.ne.jp

正々堂々



## 小池としあきが、9月定例議会で、45回目の一般質問に臨みました！

今回は、冬に向かい両方の流行が懸念される**新型コロナウイルスとインフルエンザの感染症予防対策**と、より**安全な自転車走行空間整備のあり方**について、市長の考え方を質すとともに提案を行いました。

### 質問1・新型コロナウイルス、インフルエンザを「正しく恐れる」という観点から、市民にどう訴え、取り組んでいくか？

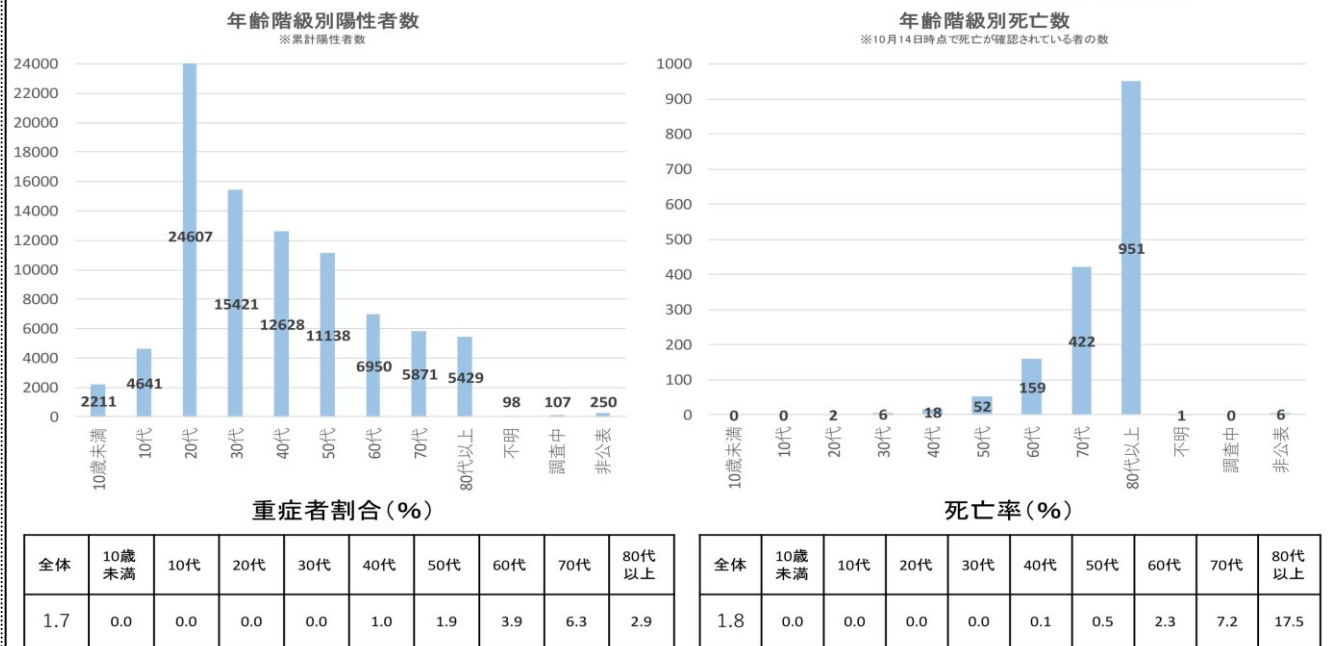
① インフルエンザの流行期入りの前に、市民に対し**新型コロナ、インフルエンザ感染予防対策**について、ともに「**正しく恐れる**」という観点からどう訴え、実施していく考えか？

→(市長)これまで2類感染症相当として運用されてきた**新型コロナ**が、仮に**季節性インフルエンザ**等と同等の危険度が低い5類感染症に分類した場合、**感染症予防対策に緩みが生じるとの懸念もあり**、治療薬やワクチンが開発されていない中での見直しが妥当かどうか、今後、国が専門家の意見を聞きながら適切に判断していくものと考えている。

市としては、これまで通り、国や県が発表する事実や知見に基づく正確な情報を市民の皆様に発信するとともに、今後、**国や県の新型コロナに対する危険度等の評価を踏まえ、適切な対応を図っていく。**

### 新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

令和2年10月14日18時時点



重症者割合 (%)										死亡率 (%)									
全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.9	3.9	6.3	2.9	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	2.3	7.2	17.5

注: これらの分析は年齢階級や入退院の状況など陽性者の個別の状況について、都道府県等から当省が情報を得られたものを集計しており、総数は現在当省HPで公表されている各自治体がウェブサイト上で公表している数等を積み上げた陽性者数・死亡者数・重症者数とは一致しない。

### 質問2・データから見れば、インフルエンザの方が若年層も重症化する傾向が高いが、どう考え、訴えるか？

#### ■新型コロナによる年代別死亡者(令和2年1月~9月)

区分	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
死亡者	0	0	2	6	17	51	154	403	896	1,529
割合 (%)	0.0	0.0	0.1	0.4	1.1	3.3	10.1	26.4	58.6	100.0

※厚労省「新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について(令和2年10月1日版)」  
※不明・非公表は含まない

#### ■季節性インフルエンザ患者の年代別入院時の状況(令和元年9月~令和2年4月)

区分	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
ICU入室	145	36	6	23	52	61	89	110	99	621
割合 (%)	23.3	5.8	1.0	3.7	8.4	9.8	14.3	17.7	15.9	100.0
人工呼吸器の利用	75	22	3	17	39	40	76	100	89	461
割合 (%)	16.3	4.8	0.7	3.7	8.5	8.7	16.5	21.7	19.3	100.0
入院合計	5,216	856	155	277	432	599	1,189	2,012	2,754	13,490
割合 (%)	38.7	6.3	1.1	2.1	3.2	4.4	8.8	14.9	20.4	100.0

※厚労省「インフルエンザの発生状況について(2019/2020)」(令和2年4月10日)  
※基幹定点医療機関(約500ヶ所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数  
※令和元年9月2日~令和2年4月5日の入院患者累計数

#### ■インフルエンザによる市内小中学校の感染者数・学級閉鎖数

年度	感染者数(人)	学級閉鎖数(学級)
平成27	4,434	229
28	4,288	209
29	5,938	244
30	4,525	232
令和元	2,804	166

※富士市学務課資料  
※感染者数には学級閉鎖時の該当クラス感染者数は含まれない(実際の感染者はこの数字より多い)  
※学級数は延べ数

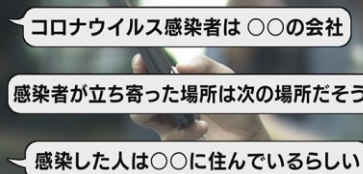
#### ■新型コロナをめぐるデマの報道(NHKWEBサイトより)

##### 新型コロナウイルスが及ぼす悪影響

感染への不安や、未知のものに対する恐怖心  
・デマやうわさ話などの誤った情報を信じ、広めてしまう。

差別や偏見・いじめなど人権侵害の発生  
・特定の人を避けようとしたり、嫌悪の対象にしたり、不当な扱いをする。

※差別されることを恐れ、医療機関への受診をためらい、結果として新型コロナウイルスの拡散を招く恐れがあります。



(再質問)厚労省のデータによれば、**新型コロナの陽性者数は20~40代等が高いが、死亡者は60代以上の高齢者に偏っていて、子どもや壮年層では重症者・死亡者はほぼゼロである**(9月末現在のコロナによる死亡者は1,529人)。また、死亡者の死因は**ガンを始め他の病気であってもコロナ陽性が認められれば「コロナ死亡者」に計上されている**。

一方、**インフルエンザは子どもや若年層でも重症化する割合が高く、年間の直接の死亡者は3,000人、インフル関連死を含めると年間10,000人**。これらのデータからは、**コロナよりインフルの方が私は怖いと思う**。

データを示した上で「**小中学生の子供がいる家庭は、コロナは大げさな心配はいりません**」、「**高齢者は両方気をつけましょう**」とメリハリのある注意喚起を市長自身の口から行うべきと考えるがどうか？

→(市長) **データ・情報は正確に提示していくが、私の立場からは「若い人は心配はいらない」とは言えない**。コロナの全てが**解明されておらず、ワクチン・治療薬も開発されていない**。**感染力もインフルより高いと聞いている**。

(再提案) **感染力の強弱については疑問である**。インフルに感染したり、学級閉鎖が発生しても**パニックになることやデマが飛ぶこともない**。データから見れば、現在は明らかに「**煽られている**」状況である。データ・情報とともに、**適切な判断方向を示すことで、疑心暗鬼を生じさせないようにし、医療崩壊を防ぐことに尽力してほしい**。

# 質問2・「自転車通行帯」や、歩道と車道の段差ゼロを目指した整備の進め方は？

① 「自転車通行帯」に関する規定が道路構造令に新設されたが、都市計画決定時に幅員1.5mの停車帯を確保した道路が、現状では中央帯（ゼブラゾーン）を設けている五味島岩本線、中島林町線等の路線は、停車帯分を自転車通行帯として整備すべきではないか？

→(市長)自転車の安全な通行区間の確保については、市内全域を網羅する自転車ネットワーク計画の策定が必要であり、五味島岩本線や中島林町線などは、このネットワーク計画の構成路線を踏まえ、中央帯を廃止し、停車帯を自転車通行帯にするなど、整備手法を検討していく。

② 自転車歩行者道においては、バリアフリーの観点から歩道と車道の段差をゼロにする工夫はできないか？

→(市長)自転車歩行者道は、あくまでも歩道であり、歩行者を優先し、自転車は徐行することを前提としている。様々な利用者の安全の観点からすれば、最低限の段差を設けることは必要と考える。

(再提案)静岡市では、視覚障害者団体、ベビーカー利用の子育てママグループ、自転車愛好家団体等が現場で立ち合い、白杖（白い杖）を利用する視覚障害者の方々が、縦にスリットが入った斜めのブロックなら車道との境を認識しやすいとの合意を得て、段差ゼロのユニバーサルデザインを達成している。富士市でも様々な立場の利用者によるワークショップ方式で検討し、段差ゼロを目指してほしい。

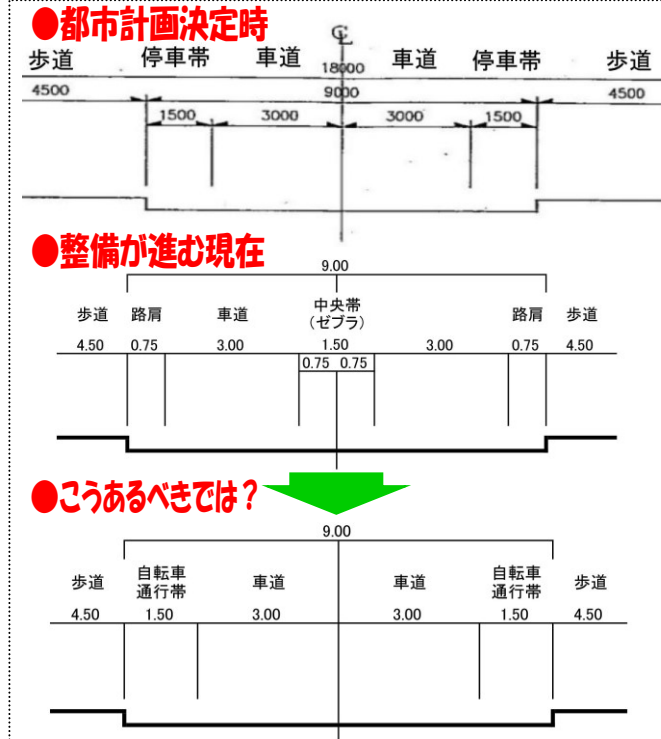
## 道路構造令の改正(平成31年)で位置付けられた「自転車通行帯」

区分	自転車道	普通自転車専用通行帯	車道混在の通行位置明示(路面表示、カラー舗装など)
概要	自転車の通行のために、緑石や柵などの工作物により区画して設けられる道路の部分(幅員2.0m以上)	道路標識等で区分され、普通自転車が通行しなければならない車両通行帯として指定された道路の部分(幅員1.5m以上)	自転車と自動車とが混在する道路のうち、路肩や停車帯、車線に対策を講じたもの(カラー舗装や矢羽根型路面表示など)
イメージ			
写真			
関連法令	道路構造令…第2条第2項 道路交通法…第8条第1項(一方通行規制がある場合)	道路構造令…規定なし(～H31.4) 第2条第15項(H31.4～)	道路構造令…規定なし 道路交通法…規定なし ※完成形態の整備が当面困難である場合、暫定形態として整備

## 歩道との段差をゼロにした静岡市街地(静岡駅～県庁)



## 都市計画道路 中島林町線の断面構成



## 整備が進む現在の中島林町線



# 7～10月の活動 ・富士市の長年の懸案であった新環境クリーンセンターと旧常葉大富士キャンパス跡地の稼働・営業が始まりました！



富士市森林財産の管内視察(7/14)…内山と須津山の両財産委員会の統合を目標に内山時代から7年間務めた委員長を交代しました。



田宿川の川そうじ(8/16、10/4)…今年は例年に比べ雨が多かったせいか、川の水位が高い状態が続いています。水草を刈ると30cm程下がるのですが、台風や集中豪雨等が心配です！



滝川の土手普請とヒガンバナの開花(7～9月)…9月のお彼岸に、きれいに開花したヒガンバナが見えるようにするには、夏の草刈りが欠かせません。今年はコロナと酷暑の影響で全区間の草刈りができませんでした。それでも草を刈った区間は赤い絨毯を敷いたようでした！



常葉大富士キャンパス跡地にエスプラット フジスパークがオープン(8月)…時之栖が運営するスポーツ合宿の拠点としてオープン。ビール園やレストランの一般営業は忘年会頃からとのことです！



富士市新環境クリーンセンターが竣工(10/4)…建設候補地決定後、17年かけて新しいクリーンセンター(ごみ焼却+リサイクル+環境学習の場)が完成しました。排熱を利用した発電や「ふじかぐやの湯」と名付けられた温浴施設も稼働を始めました。皆様も是非活用を！